

日本スライド工業株式会社の取り組み

日本スライド工業株式会社は、オフィス家具やOA機器、システムキッチン、鉄道ドアの開閉部等で使用される様々なスライドレールを開発、製造、販売するメーカーです。THKグループの一員として、環境マネジメントシステムを利用して電気、水、CO₂削減のため排出量やエネルギー発生量を計量することで、環境への負荷を減らす取り組みを行っています。

昨年度は、一般廃棄物を約6 t、産業廃棄物を約23 t削減されており、過去データや発注内容による製造や、様々な品目に対応できるレールの長さで製造することにより、歩留まりを向上させるなど企業努力をしており、積極的に廃棄物の発生抑制や資源化、適正処理に取り組んでいます。

【発生抑制の取り組み】

- ・歩留まり向上による金属くずの削減を行っています。具体的には、過去の生産実績や製造ラインの負荷に合わせて製造することで、在庫を減らし管理しています。
- ・弁当がらや私用で出たごみの持ち帰りを従業員に促しています。

【資源化の取り組み】

- ・PPバンドやビニール・ラップなどの廃プラスチック類をリサイクルしています。
- ・ステンレスや鉄くずなどの金属くずを有価で売却し、それ以外の金属も分別し無償で引き渡しています。

【適正処理の取り組み】

- ・木製パレット、廃プラのパレット以外に段ボールパレットを使用して、段ボールを再利用しています。
- ・朝礼時や粗大ごみを出す際に分別を周知していますが、新人にはごみの分別が難しいため、絵や図を用いて分かりやすい表示を行い、正しく分別するように徹底しています。